

# 令和5年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和5年7月11日（火）16：00～17：00

場 所：釧路市教育委員会 2F 教育委員会室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料1 令和4年度事業報告

資料2 令和5年度事業計画

## 1 開会

## 2 教育長挨拶

## 3 議事

### (1) 令和4年度事業報告

○事務局より、資料1を使用し、説明。

### (2) 令和5年度事業報告

○事務局より、資料2を使用し、説明。

### (2) その他

【以下、質疑応答】

【令和4年度事業報告】

◇委員

・令和4年度教育講演会の内容について、どのように具体的な教育活動に生かしているのか。

◆事務局

・端末の利活用にあたっては、授業の目的を大切にしつつ活用していくことが重要。また、教育講演会で川島先生が読書活動の大切さもお話しされていたため、様々な活動とのバランスを大切にしたい推進が必要だと考える。今後は、スマートフォン・携帯電話などの利用に関するアンケート調査結果を踏まえた働きかけをしていく。

◇委員

・親の世代がスマートフォン・携帯電話などの端末をよく使っているため、子供が端末を使いすぎる状況がなかなか改善していかない。端末を子供が使いすぎている例や子供がルールを守れないという事例を多く聴くので質問した。端末活用について、子供が自分でコントロールできるように促して行ってほしい。

◆事務局

・子供が「自分で端末の適切な活用の仕方について考えることができる力」を身に付けさせていくことが大切だと思っている。

◇委員

・令和4年度の教育講演会の内容がとてもよかった。これまでのように、普段なかなか聴けない話が聴けるのはありがたい。教育講演会の内容で、タブレットドリルの活用による脳への影響について触れられていたが、今後どのように教育活動につなげていこうと考えているのか。

◆事務局

・川島先生のご意見は、1つの知見として捉えながら、時代の要請を踏まえて端末の利活用について

も考えていきたい。

◇委員

・研修講座については、毎月バランスよく入れてもらえるとうありがたい。

◆事務局

・利用施設や学校行事などの関係で、調整がうまくいかないこともあるが、極力バランスよく入れられるようにしていきたい。

◇委員

・研修講座については、オンラインや動画配信があったりするのかな。

◆事務局

・研修講座の内容や期日、また講座の目的がオンラインでも達成できるかを勘案し検討している。研修履歴への記載もあるため、現在は参集を基本にしているが、多くの先生に研修の機会を保障することも大切にしていきたい。

◇委員

・未就学児の端末使用について対応している講座はあるのかな。

◆事務局

・未就学児のみを対象としている講座はない。しかし、端末活用に関わる内容が含まれる講座はあり、参加対象に幼稚園や保育園の先生も含んでいる。

【令和5年度事業計画】

◆事務局

・免許更新制度に変わる新たな研修制度により、研修講座を受講した履歴が残る。  
・今年度の教育講演会講師である武藤氏は、文部科学省でデジタル化を推進している方であり、川島先生とは、違う角度の講演内容になると考える。  
・研修講座の動画配信については、目的や内容に応じて行っていく。  
・よい講座を受けたくても受けられないという先生が、動画配信によって、受けられる状況にしたい。

◇委員

・教育研究センターのホームページに掲載されている学級経営ハンドブック、UD通信をよく使っている。新卒の先生方にとっても、よい内容のものである。過去の優れた資料をデジタル化して、継続的にホームページに載せてほしい。

◆事務局

・内容の適否を確認し、再度掲載する予定である。

◇委員

・家庭で使う端末と学校で使う端末は一緒に考えていかないようにした方がよい。  
・家庭で使う端末は家庭教育、学校で使う端末は学校教育で行なっていくというように線引きをして考えることも大切である。

◆事務局

・A I利活用に関する問題が出てきている、A I利活用に関わる情報リテラシーの問題について、学校現場ではどんな状況なのか。

◇委員

・中学校現場でも、生徒の不適切な利用事例が出てきている。  
・大学でも、学生の不適切な利用事例が出てきている。

◆事務局

・今日的な課題を踏まえた講座について今後も検討していく。

## 4 閉会